通し番号

4978

分類番号

R01-6B-21-07

系統豚ユメカナエル維持集団の能力

[要約] 当所で造成したランドレース種系統豚「ユメカナエル」の維持集団の能力を確認したところ、維持集団の血縁係数は29.08%、近交係数は12.30%であり、認定時と比べて遺伝的構成の大きな変化はなく維持されていた。造成時の改良形質であった一腹平均総産子数は10.1頭、3週齢平均体重は6.2kgであり、認定時の数値と同程度だった。また、強健性の指標とした管囲は雄18.1cm、雌17.1cmであった。維持集団は認定時の能力を保持していることが確認された。

畜産技術センター・企画指導部・企画研究課

連絡先 046-238-4056

[背景・ねらい]

新たな国際環境に対応し、輸入豚肉価格に対抗できる低コスト生産を推進するため、繁殖能力、強健性に優れたランドレース種として平成14年度に認定された系統造成豚「ユメカナエル」は、遺伝的構成を大きく変化させずに継続して維持されている。そこで、今後も「ユメカナエル」の維持を継続するため、維持集団の血縁係数、近交係数、繁殖能力、産肉能力、体型について調査し、遺伝的構成及び形質について評価する。

[成果の内容・特徴]

- 1 維持集団の大きさは、認定時と同じ種雄豚 10 頭、種雌豚 35 頭とした。得られた総産子数は雄 330 頭、雌 281 頭であり、このうち雄 22 頭、雌 9 頭を 1 次選抜で種豚候補とした (表 1)。
- 2 維持集団の血縁係数は 29.08%、近交係数は 12.30%、遺伝的寄与率変動係数は 0.32% であった。維持集団の遺伝的構成は認定時から大きな変化はなかった(表 2)。
- 3 繁殖能力は、一腹平均総産子数は10.1 頭、ほ乳開始頭数は8.7 頭、離乳頭数は7.9 頭、 育成率は90.8%、子豚平均体重は、生時1.6 kg、3 週齢6.2 kg、8 週齢19.5 kgであった。 これらの値は認定時と同水準の値であった(表3)。
- 4 30~100 kgの一日平均増体重は、雄では 910.7g、雌では 787.1g、100 kg到達日齢は雄では 142.4日、雌では 155.5日であり、産肉能力はランドレース種種豚として十分能力を示した(表4)。100 kg到達時に超音波診断装置を用いて測定した背脂肪厚は雄では 1.0 cm、雌では 1.1 cm、ロース断面積は雄では 28.3 cm、雌では 29.3 cmであった。体型調査について、体長は、雄では 107.7 cm、雌では 106.7 cmであった。体高は、雄で 59.6 cm、雌で 60.6 cmであった。造成時の強健性指標とした管囲は雄では 18.1 cm、雌では 17.1 cmであり、認定時と比べて、雄では 0.5 cm、雌では 0.2 cm増加した。前幅、後幅、胸幅のいずれの項目も認定時と同様の値を示し、変化は認められなかった(表5)。
- 5 1~4 により、維持集団は認定時の能力を保持していることが確認された。

[具体的データ]

表1 維持の状況

	/I-ра 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	7 17 1	
訓	間査項目		頭数
集団構	 请成頭数	3	10
		우	35
分娩膠	夏数		56
総産子	一数	3	330
		우	281
種畜傳	幹補頭数	3	22
		우	9
自場更	更新頭数	3	2
		우	7

表2 遺伝的構成の変化(平均値±標準偏差)

F 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2 T T T T T T T T T T T T T T T T T T T	D4: 1 11:47==7
調査項目	認定時	R1年度
血縁係数(%)	19.46 ± 0.13	29.08 ± 0.08
近交係数(%)	6.77 ± 0.02	12.30 ± 0.01
寄与率変動係数	0. 26	0.32

表 3 繁殖能力調査

火 の 赤/世間/71明五		
調査項目	認定時	R1年度
分娩種雌豚 (頭)	42	56
一腹平均 (頭)		
総産子数	10.1	10.1
ほ乳開始頭数	9.5	8.7
離乳頭数	8.5	7.9
育成率	89.4%	90.8%
子豚平均体重(kg)		
生時	1.5	1.6
3 週齢	5.8	6.2
8週齢	19.3	19.5

表 4 産肉能力調査成績(平均値±標準偏差)

調査項目		認定時	R1年度
一日平均増体重 (g)	3	854.8 ± 88.0	910.7 \pm 82.8
$(30 \sim 100 \text{kg})$	우	807.2 ± 83.7	787.1 ± 79.1
100kg到達日齢(日)	3	153.6 ± 9.7	142.4 ± 7.8
	우	161.2 ± 13.2	155.5 \pm 13.6

表 5 100kg到達時の体型調査成績(平均値±標準偏差)

10	100	/INS エリ,	生物・ケド土物も	
調	查項	目	認定時	R1年度
体	長	8	113. 2 \pm 3. 3	107.7 ± 4.6
(c)	m)	2	113.5 \pm 3.3	106.7 ± 3.9
体	高	3	63.8 \pm 3.1	59.6 ± 3.0
(cı	m)	우	62.7 ± 2.5	60.6 ± 1.5
胸	用	3	104. 4 ± 2.7	106. 1 ± 4.1
(cı	m)	2	104.7 ± 2.6	105.0 ± 1.8
管	井	3	17.6 ± 0.5	18.1 ± 0.5
(cı	m)	우	16.9 ± 0.5	17.1 ± 0.4
前	幅	3	32.0 ± 1.4	33.8 ± 1.7
(cı	m)	우	31.8 ± 1.5	32.1 \pm 1.8
後	幅	3	32.7 ± 1.3	32. 2 ± 1.8
(cı	m)	우	33.0 ± 1.5	32.6 ± 1.6
胸	幅	3	27.0 ± 1.4	28.6 ± 2.3
(c)	m)	우	27.2 ± 1.4	28.3 ± 1.5

[資料名] 令和元年度試験研究成績書

[研究課題名] 系統豚を利用した高品質豚肉生産技術の確立

[研究内容名] 維持集団における近交係数の変化に伴う各能力の変化

[研究期間] 平成 15~令和 2 年度 [研究者担当名] 白石葉子、中原祐輔